



photo: Akira Muto

萩原麻未 (ピアノ) | Mami Hagiwara, piano

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。広島県出身。第27回パルマドーロ国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルテウム音楽院を卒業。日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。これまでに、スイス・ロマンダ管、南西ドイツ放送響など国内外における主要オーケストラとも多数共演を重ねているほか、フランスのラ・ロック・ダンテロン等の様々な音楽祭に招かれている。【第32回(2013)横浜市招待国際ピアノ演奏会 出演者】



photo: K. MIURA

山根一仁 (ヴァイオリン) | Kazuhito Yamane, violin

1995年生まれ。第79回日本音楽コンクール第1位。岩谷賞(聴衆賞)など副賞の他、全部門を通じて最も印象的な演奏、作品に贈られる増沢賞も最年少受賞。中学生の1位は26年ぶりの快挙。これまでにバーミンガム市交響楽団、ミュンヘン交響楽団、プラハ・カメラータ、NHK交響楽団をはじめ国内外のオーケストラと共演を重ねる。ソロリサイタルの他に室内楽ではベルリンフィル五重奏団、P・ウィスベルウェイ、N・メンケマイヤー等と共演、名手からの信頼も厚い。テレビ、ラジオではNHK『ららら♪クラシック』、『クラシック倶楽部』、NHK-FM『名曲リサイタル』、TV朝日『題名のない音楽会』等に多数出演している。横浜文化賞文化・芸術奨励賞(最年少)、岩谷時子音楽財団Foundation for Youth賞、青山音楽賞新人賞、出光音楽賞、ホテルオークラ賞等受賞。明治安田クオリティオブライフ文化財団奨学生。現在ミュンヘン音楽大学にてクリストフ・ボッペン氏に師事。http://kazuhitoyamane.jp/ 【平成23年度 横浜文化賞文化・芸術奨励賞 受賞者】



photo: ノザワヒロミチ

大関万結 (ヴァイオリン) | Mayu Ozeki, violin

2000年横浜市生まれ。3歳よりヴァイオリンを始め、篠崎史紀、岩崎裕子の各氏に師事。13年第67回全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会第1位、併せて東横賞・兎束賞受賞。17年には第5回ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリン・コンクールファイナリスト及びディプロマ賞受賞、また、第86回日本音楽コンクール第1位、併せて岩谷賞(聴衆賞)、レウカディア賞、鷲見賞、黒柳賞、全部門を通じて最も印象的な演奏に贈られる増沢賞を受賞。18年東京都知事賞、横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。桐朋女子高等学校音楽科を首席で卒業。現在ロームミュージックファンデーション奨学生として、ウィーン私立音楽芸術大学で研鑽を積んでいる。【平成30年度 横浜文化賞文化・芸術奨励賞 受賞者】



photo: Masaaki Hiraga

福岡洸太郎 (ピアノ) | Kotaro Fukuma, piano

パリ国立高等音楽院、ベルリン芸術大学で学ぶ。20歳でクリーヴランド国際コンクール優勝(日本人初)およびショパン賞受賞。これまでにカーネギーホール、リンカーンセンター、ウィグモアホール、サントリーホールでリサイタル他、クリーヴランド管、イスラエル・フィル、NHK交響楽団など国内外の著名オーケストラとの共演も多数。2016年7月にはネルソン・フレイレの代役として急速・トゥーラーズ・キャピトル国立管弦楽団定期演奏会において、トウガン・ソヒエフの指揮でブラームスのピアノ協奏曲第2番を演奏し喝采を浴びた。CDは『ベートーヴェン:ピアノ・ソナタ集』(ナクソス)など、これまでに16枚をリリース。現在ベルリン在住。オフィシャル・サイト: http://www.kotarofukuma.com 【第33回(2014)横浜市招待国際ピアノ演奏会 出演者】



photo: Yosuke Sato

實川風 (ピアノ) | Kaoru Jitsukawa, piano

ロン・ティボー・クレスパン国際コンクール第3位(1位なし)・最優秀リサイタル賞・最優秀新曲演奏賞(フランス)、カラーリョ国際ピアノコンクール第1位・聴衆賞(イタリア)などを受賞。ベートーヴェンを核としたレパートリーでこれまでに、東京交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、大阪交響楽団などのオーケストラと共演。東京藝術大学を首席で卒業し、同大学大学院(修士課程)修了。グラーツ国立音楽大学ポストグラデュエート課程を修了。【第37回(2018)横浜市招待国際ピアノ演奏会 出演者】

1 青葉区 9/14(火)
青葉区民文化センター「フィリアホール」

2 金沢区 9/16(木)
金沢公会堂

横浜シンフォニエッタメンバー(弦楽五重奏)

■横浜シンフォニエッタ
音楽監督に山田和樹を擁し、横浜に活動拠点を置くオーケストラとして国内外で演奏活動を展開している。2013年に横浜文化賞文化・芸術奨励賞を受賞。

3 栄区 11/17(水)
栄区民文化センター「リリス」

4 瀬谷区 11/18(木)
瀬谷公会堂

新日本フィルハーモニー交響楽団メンバー(弦楽五重奏)

■新日本フィルハーモニー交響楽団
1972年小澤征爾のもと創立。すみだトリフォニーホールを本拠地とし、世界的指揮者との共演歴を誇る演奏会の他、地域に根ざした活動も特徴的。

5 保土ヶ谷区 2022年 1/12(水)
かながわアートホール

6 磯子区 1/13(木)
磯子区民文化センター「杉田劇場」

神奈川フィルハーモニー管弦楽団メンバー(弦楽五重奏)

■神奈川フィルハーモニー管弦楽団
“神奈川の文化のシンボル”として親しまれるとともに、神奈川を中心として全国的な活動を続けている。これまでに「神奈川文化賞」(1989)、「横浜文化賞」(2007)等を受賞。

7 鶴見区 2022年 1/27(木)
鶴見区民文化センター「サルビアホール」4階ホール

8 泉区 1/28(金)
泉公会堂

日本フィルハーモニー交響楽団メンバー(弦楽五重奏)

■日本フィルハーモニー交響楽団
創立当初より幅広いレパートリーと斬新な演奏スタイルで注目を集め、現在は“オーケストラ・コンサート”“エデュケーション・プログラム”“地域活動”の3つの柱で音楽を通じて文化を発信し続けている。

9 港南区 2022年 3/1(火)
港南区民文化センター「ひまわりの郷」

10 旭区 3/2(水)
旭区民文化センター「サンハート」ホール

ハマのJACKメンバー(弦楽五重奏)

■ハマのJACK
NHK交響楽団メンバーを中心に国内を代表するオーケストラメンバーと共に、クラシックを身近にしたコンサートを数多く開催。横浜市内を中心に活動している。

横浜18区コンサート

横浜みなとみらいホール出張公演

俊英ソリストと弦楽五重奏で聴くピアノ／ヴァイオリン協奏曲

第1期
全10区

2021年 9月 → 2022年 3月

各回 15:00 開演(14:30開場)
※各回60分予定、休憩なし

◎自由席 各回 3,000円(税込)
※座席の間隔を空けてご着席いただきます。

◎5公演セット券 12,000円(税込)
※予定枚数終了次第、販売終了



萩原麻未 (ピアノ) ×
横浜シンフォニエッタメンバー



山根一仁 (ヴァイオリン) ×
新日本フィルハーモニー交響楽団メンバー



福岡洸太郎 (ピアノ) ×
日本フィルハーモニー交響楽団メンバー



實川風 (ピアノ) ×
ハマのJACK メンバー



大関万結 (ヴァイオリン) ×
神奈川フィルハーモニー管弦楽団メンバー

大規模改修工事に伴う長期休館のお知らせ

横浜みなとみらいホールは大小ホールの天井耐震化と施設の長寿命化、バリアフリー対応を目的とする大規模改修工事に伴い、2022年10月頃まで全館休館いたします。

横浜みなとみらいホール

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい4-3-1 PLOT48

横浜みなとみらいホール仮事務所

TEL: 045-682-2020 FAX: 045-682-2023

https://mmh.yafjp.org/mmh/



@yokohamammh

■新型コロナウイルス感染防止に向けて

ご入場の際は、マスクの着用・会場入り口での検温・手指の消毒、もしくは石けんによる手洗いの励行へのご協力をお願いいたします。また、発熱があり検温の結果37.5℃以上の発熱があった場合や風邪の症状がある場合はご入場いただけません。詳しくは、横浜みなとみらいホールホームページお知らせ欄の「横浜みなとみらいホール休館中の主催公演における感染症対策 来場者の皆様へお知らせとお願い」を必ずご確認ください。

◆やむを得ぬ事情により出演者・曲目等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。◆本公演は途中休憩がございません。◆チケットは如何なる場合(紛失・盗難・破損等)も再発行いたしません。◆ご購入求めたチケットは公演中止の場合を除き、変更払い戻しはいたしません。◆公演中止の場合に、旅費等の補償はできません。チケット券面以外は一切ご返金いたしかねます。



主催：横浜みなとみらいホール
(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
共催：横浜アーツフェスティバル実行委員会
助成：文化庁文化芸術振興費補助金
(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) |
独立行政法人日本芸術文化振興会



YOKOHAMA
OTOMATSURI

「: #MMhall will Keep Going :」
横浜みなとみらいホールは音楽を響け続けます